

|     |           |
|-----|-----------|
| 記録日 | 令和3年12月9日 |
| 記録者 | 大塩 悠介     |

## 戸田市薬剤師会学校薬剤師委員会議事録

|    |                             |     |                            |
|----|-----------------------------|-----|----------------------------|
| 日時 | 令和3年12月9日(木)<br>13:00~14:00 | 出席者 | 染川、武長、野口、芹澤、金成、成塚、斉藤、大塩(記) |
| 場所 | 戸田市役所 503会議室                |     |                            |

### 議題

- 1 照度検査について
- 2 教室CO2測定について
- 3 その他

### 会議内容

- 1 黒板のない学校として前回委員会で議論となった「戸田東小・中学校」について担当の染川会長より説明、金成委員より補足があった。従来黒板があるべき場所にはプロジェクターで映すモニター画面があり、その両脇にホワイトボードが置かれているという配置であり、このホワイトボードにおいて照度検査を行った、とのこと。また、他校でも生徒にPCが配られていてPCルームが授業で使用されていない実態が報告されているが、戸田東小・中学校にはStem Labという最先端のメディアルームが用意されていて、いくつかの長机の上にモニターが置かれているという設備であることの説明があった。学校を取り巻く環境が変化している中で、我々の報告書類の整備のみならず、検査自体を見直すべく議論を積み重ねていく必要がある、との声が複数の委員会らあがった。
- 2 成塚委員より、各校コロナ下における感染予防対策の一環として窓の開放による空気の入替えがあり、CO2濃度が低いことが予想できる。しかしながら今回配られる北川式の検知管では500ppm程の濃度は目盛りが見づらい状況である。ガステックの検知管であればこの領域の濃度も目盛りが見やすくなっており、こちらを採用すべきではないかとの提案あり。あわせて現在各校で使用されている検知管についても調査が必要であるとの認識を示し、各委員もこれに賛同した。付け加えて武長委員長より、冬場窓をあけているので生徒は大変寒い思いをするであろう。防寒について学校薬剤師からアドバイスしてもよいのではないかと、との認識示した。
- 3 ホルムアルデヒドの検査について、来年からは全校実施の予定であったが、予算が通らず6校のみの検査となった。ここで、「検査会社に払うホルムアルデヒドの検査費用が高い」という話から、「その予算で機械を買って自分たちで都合の良い日時に検査できれば、そのほうがベターではないか？」との意見があり、複数委員も賛同。しっかり型式、購入予定金額、メンテナンス等詰めなければいけない項目あり、継続審議となった。
- 4 笹目中学校の体育館の照明が暗いため、状況の報告、改善を学校薬剤師が指摘、提案したが予算なく却下となった事例を芹澤委員が紹介。野口委員より給食のお皿を新しくする件も同様だが、1回であきらめず、言い続けることが大事であるとのアドバイスあり一同賛同。

### 決定事項

- ・CO2検査はおおむね来年2月末までに実施
- ・給食検査は2022年3月まで延長可。

### 検討事項

- ・報告書式の整備
- ・ホルムアルデヒド他空気検査の機器購入